

算数オンライン塾 12月9日の問題解説

Pの静水時の分速を【10】とするとQの静水時の分速は【4】、流れの速さは【1】になります。

Pは上りの速さが【9】になるので、20分後にAから【9】×20=【180】の距離にいます。それがABの3分の2になるのでAB間は【180】÷2×3=【270】です。

ここからPは流されます。Qの上りの速さは【3】になるので20分後に

【3】×20=【60】ですからPQの間の距離は【120】で、それが【3】+【1】=

【4】で詰まるので120÷4=30分 20+30=50分後…ア

QがBに到着するのは【270】÷【3】=90分後…ウ

90-20=70分間で、その70分ですべて上ると【9】×70=【630】行けます。

ところが流されると【9】がなくなり、さらに【1】下るので1分流されるごとに【10】

下がるので、【630】-（【270】-【180】）=【540】から

540÷10=54分流されたことになります。

したがって20+54=74分

(答え) ア 50 イ 74 ウ 90